



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)札幌スパインジョイントホスピタル 新築工事	階数	3
建設地	札幌市中央区北13条西19丁目1番地50号、北14条西19丁目1番地3号	構造	RC造
建物用途	病院	平均居住人員	0 人
竣工年	2026年5月 予定	年間使用時間	0 時間/年(想定値)
敷地面積	3,396 m ²	評価の段階	実施設計段階評価
建築面積	1,476 m ²	評価の実施日	2025年3月12日
延床面積	4,193 m ²	作成者	
		確認日	
		確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 建築環境SDGsチェックリスト評価結果	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE = 0.5 ★★★★★ B S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★ 環境品質 Q 環境負荷 L	SDG1,2,10,14,16は他のゴールに集約されています	Q2 サービス性能 Q1 室内環境 Q3 室外環境(敷地内) LR1 エネルギー LR2 資源・マテリアル LR3 敷地外環境
2-4 中項目の評価(バーチャート)		2-4 一次エネルギー消費量の評価
Q 環境品質 Q1 室内環境 Q1のスコア= 2.3 Q2 サービス性能 Q2のスコア= 2.4 Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 1.1 LR 環境負荷低減性 LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.3 LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 2.8 LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.0		建物全体の[BEI][BEIm] 0.79 ZEB/ZEH-Mランク 非該当

3 設計上の配慮事項		
総合		A 省エネルギー
B 省資源等	C 緑化	D 雪処理
0	0	0

4 ほかの認証・評価制度の利用			
(一財)住宅・建築 SDGs 推進センターのCASBEE認証	-	BELS認証	-
上記以外の認証・評価制度の利用	-	LEED認証	-

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■環境品質Q=25×(Qのスコア-1)、環境負荷L=25×(5-LRのスコア)より算出

CASBEE_Sapporo2021v1.0
【仮称】札幌スパインジョイントホスピタル 新築工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE_Sapporo2021v1.0

■評価ソフト: CASBEE札幌2021 (ver.1.0)

スコアシート		実施設計段階					
配慮項目	重点 評価項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
			評価点	重み 係数	評価点	重み 係数	
Q 建築物の環境品質							2.0
Q1 室内環境				0.40		-	2.3
1 音環境			1.0	0.15	1.0	1.00	1.0
1.1 室内騒音レベル		—	1.0	0.40	1.0	0.40	
1.2 遮音			1.0	0.40	1.0	0.40	
1 開口部遮音性能		—	1.0	0.40	1.0	0.30	
2 界壁遮音性能		—	1.0	0.60	1.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		—		-	1.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		—		-	1.0	0.20	
1.3 吸音		—	1.0	0.20	1.0	0.20	
2 温熱環境			2.7	0.35	2.7	1.00	2.7
2.1 室温制御			3.0	0.50	3.0	0.50	
1 室温		—	3.0	0.38	3.0	0.57	
2 外皮性能	省エネ	—	3.0	0.25	3.0	0.43	
3 ゾーン別制御性		—	3.0	0.38		-	
2.2 湿度制御		—	3.0	0.20	3.0	0.20	
2.3 空調方式		—	2.0	0.30	2.0	0.30	
3 光・視環境			2.6	0.25	3.1	1.00	2.6
3.1 昼光利用			1.8	0.30	1.8	0.30	
1 昼光率		—	1.0	0.60	1.0	0.60	
2 方位別開口		—		-		-	
3 昼光利用設備	省エネ	—	3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策			3.0	0.30	3.0	0.30	
1 昼光制御	省エネ	—	3.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度		—	3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御		ベッド単位の細かな照明制御ができる。	3.0	0.25	5.0	0.25	
4 空気質環境			2.3	0.25	2.7	1.00	2.3
4.1 発生源対策			3.0	0.50	3.0	0.63	
1 化学汚染物質		—	3.0	1.00	3.0	1.00	
4.2 換気			2.0	0.30	2.3	0.38	
1 換気量		—	3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能		—		-	3.0	0.33	

	3	取り入れ外気への配慮		—	1.0	0.50	1.0	0.33	
	4.3 運用管理				1.0	0.20	-	-	
	1	CO ₂ の監視		—		-	-	-	
	2	喫煙の制御		—	1.0	1.00	-	-	
Q2 サービス性能					—	0.30	-	-	2.4
1 機能性					1.3	0.40	4.0	1.00	1.5
	1.1 機能性・使いやすさ				1.0	0.40	5.0	0.60	
	1	広さ・収納性		個室10㎡/床で、かつ多床室8㎡/床以上。		-	5.0	1.00	
	2	高度情報通信設備対応		—		-	-	-	
	3	バリアフリー計画		—	1.0	1.00	-	-	
	1.2 心理性・快適性				1.0	0.30	2.5	0.40	
	1	広さ感・景観		住居・宿泊部の天井高2.5m以上。		-	4.0	0.50	
	2	リフレッシュスペース		—		-	-	-	
	3	内装計画		—	1.0	1.00	1.0	0.50	
	1.3 維持管理				2.0	0.30	-	-	
	1	維持管理に配慮した設計		—	2.0	0.50	-	-	
	2	維持管理用機能の確保		—	2.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性					2.8	0.30	-	-	2.8
	2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50	-	-	
	1	耐震性(建物のこわれにくさ)		—	3.0	0.80	-	-	
	2	免震・制震・制振性能		—	3.0	0.20	-	-	
	2.2 部品・部材の耐用年数				3.0	0.30	-	-	
	1	躯体材料の耐用年数		—	3.0	0.20	-	-	
	2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	省資源	—	1.0	0.20	-	-	
	3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	省資源	20年以上	5.0	0.10	-	-	
	4	空調換気ダクトの更新必要間隔	省資源	—	3.0	0.10	-	-	
	5	空調・給排水配管の更新必要間隔	省資源	主要な用途上位3種の、2種類以上にC以上を使用	4.0	0.20	-	-	
	6	主要設備機器の更新必要間隔	省資源	—	3.0	0.20	-	-	
	2.4 信頼性				2.4	0.20	-	-	
	1	空調・換気設備		—	3.0	0.20	-	-	
	2	給排水・衛生設備		—	1.0	0.20	-	-	
	3	電気設備		—	3.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法		—	3.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備		—	2.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性					3.1	0.30	3.2	1.00	3.1
	3.1 空間のゆとり				3.4	0.30	3.4	0.50	
	1	階高のゆとり		3.9m以上	5.0	0.60	5.0	0.60	

	2	空間の形状・自由さ		—	1.0	0.40	1.0	0.40	
	3.2	荷重のゆとり		—	3.0	0.30	3.0	0.50	
	3.3	設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
	1	空調配管の更新性		—	3.0	0.20	-	-	
	2	給排水管の更新性		—	3.0	0.20	-	-	
	3	電気配線の更新性		—	3.0	0.10	-	-	
	4	通信配線の更新性		—	3.0	0.10	-	-	
	5	設備機器の更新性		—	3.0	0.20	-	-	
	6	バックアップスペースの確保		—	3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)					—	0.30	-	-	1.1
1	生物環境の保全と創出		緑化	—	1.0	0.30	-	-	1.0
2	まちなみ・景観への配慮		緑化	—	1.0	0.40	-	-	1.0
3	地域性・アメニティへの配慮				1.5	0.30	-	-	1.5
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上	雪処理	—	1.0	0.50	-	-	
	3.2	敷地内温熱環境の向上	省資源 緑化	—	2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性						-	-	-	3.0
LR1 エネルギー					—	0.40	-	-	3.3
1	建物外皮の熱負荷抑制		省エネ	BPI= 0.77 品確法= BPI _m =0.77	5.0	0.20	-	-	5.0
2	自然エネルギー利用		省エネ	—	3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化		省エネ	BEI= 0.79 —	3.2	0.50	-	-	3.2
4	効率的運用				2.0	0.20	-	-	2.0
	集合住宅以外の評価				2.0	1.00	-	-	
	4.1	モニタリング	省エネ	—	3.0	0.50	-	-	
	4.2	運用管理体制	省エネ	—	1.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価				-	-	-	-	
	4.1	モニタリング	省エネ	—	-	-	-	-	
	4.2	運用管理体制	省エネ	—	-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル					—	0.30	-	-	2.8
1	水資源保護				3.0	0.20	-	-	3.0
	1.1	節水		—	3.0	0.40	-	-	
	1.2	雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
	1	雨水利用システム導入の有無		—	3.0	0.70	-	-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無		—	3.0	0.30	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減				2.6	0.60	-	-	2.6
	2.1	材料使用量の削減	省資源	—	2.0	0.11	-	-	
	2.2	既存建築躯体等の継続使用	省資源	—	3.0	0.22	-	-	
	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	省資源	—	3.0	0.22	-	-	
	2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	省資源	—	1.0	0.22	-	-	
	2.5	持続可能な森林から産出された木材	省資源	—	-	-	-	-	
	2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	省資源	事務室1の床にOAフロアを使用	4.0	0.22	-	-	

3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			—	3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.70	-	-	
1	消火剤	省資源	—	-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	省資源	—	3.0	0.50	-	-	
3	冷媒	省資源	—	3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境				—	0.30	-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮		省資源	LCCO2排出率=82%	3.7	0.33	-	-	3.7
2 地域環境への配慮				2.7	0.33	-	-	2.7
2.1 大気汚染防止		省資源	—	3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		省資源 緑化 雪処理	—	3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.0	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減	省資源	—	3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		—	3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		—	1.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制	省資源 雪処理	—	1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮				2.6	0.33	-	-	2.6
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	
1	騒音		—	3.0	1.00	-	-	
2	振動		—	-	-	-	-	
3	悪臭		—	-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制				3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		—	3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		—	1.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		—	3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制				1.0	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		—	1.0	1.00	-	-	
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		—	-	-	-	-	



重点項目 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2021v1.0

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2021(ver.1.0)

1 建物概要						
建物名称	(仮称)札幌スパインジョイントホスピタル 新築工事		BEE	0.5	BEEランク	Bー
建物用途	病院.					
延床面積	4,193.0	m ²				

2 重点項目への取り組み			レーダーチャート	
地球温暖化対策	最重点項目 省エネルギー	★★★★★	省エネルギー 性能 5.0 4.0 3.0 2.0 1.0 0.0 雪処理 省資源等への取組 緑化への取組 ★1=スコア(最低点～最高点)20%以下 ★2=スコア(最低点～最高点)20%～40%以下 ★3=スコア(最低点～最高点)40%～60%以下 ★4=スコア(最低点～最高点)60%～80%以下 ★5=スコア(最低点～最高点)80%以上	
	省資源等	★★★☆☆		
	緑化	★★☆☆☆		
	雪処理	★★☆☆☆		

3. 重点項目のCASBEEスコア									
A 省エネルギー		(	最高点	24.0	最低点	6.8	)	合計	15.7点 / 24.0点
Q1 温熱環境	スコア	0.8	/1.3	LR1 建物外皮の熱負荷抑制	スコア	4.0	/4.0		
Q1 光・視環境	スコア	1.7	/2.7	LR1 自然エネルギー利用	スコア	1.2	/2.0		
				LR1 設備システムの高効率化	スコア	6.4	/10.0		
				LR1 効率的運用	スコア	1.6	/4.0		
B 省資源等		(	最高点	23.7	最低点	7.7	)	合計	13.9点 / 23.7点
Q2 耐用性・信頼性	スコア	0.6	/1.1	LR2 非再生性資源の使用量削減	スコア	4.9	/9.0		
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	0.9	/2.3	LR2 汚染物質含有材料の使用回避	スコア	1.3	/1.9		
				LR3 地球温暖化への配慮	スコア	3.7	/5.0		
				LR3 地域環境への配慮	スコア	2.5	/4.4		
C 緑化		(	最高点	15.3	最低点	3.1	)	合計	4.5点 / 15.3点
Q3 生物環境の保全と創出	スコア	0.9	/4.5	LR3 地域環境への配慮	スコア	1.5	/2.5		
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア	1.2	/6.0						
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	0.9	/2.3						
D 雪処理		(	最高点	3.0	最低点	0	)	合計	0.0点 / 3.0点
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	0.0	/1.0	LR3 地域環境への配慮	スコア	0.0	/2.0		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■重点項目の最高点は、各評価項目でレベル5で評価された場合の点数

■重点項目の最低点は、各評価項目でレベル1で評価された場合の点数